

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：辻堂あいまーる保育園	種別：認可保育所		
代表者氏名：小城 里英	定員（利用人数）：60名（利用者57名）		
所在地：〒251-0047 神奈川県藤沢市辻堂6丁目4-3			
TEL：0466-33-7800 FAX：0466-33-7802			
ホームページ：https://onie-hiokuen.jp/tujidou-aimaru/			
【施設・事業所の概要】			
開設年月日：平成30年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：有限会社HARMONIE			
職員数	常勤職員：15名	非常勤職員：4名	
専門職員	園長	1名	
	主任	1名	
	保育士	11名	保育士 2名
	保育補助	1名	保育補助 1名
	管理栄養士	1名	調理補助 1名
施設・設備の概要	（居室数）保育室6、厨房1、事務室1		
	（設備等）子ども用トイレ2か所、園庭		

③ 理念・基本方針

保育目標： 優しく、思いやりのある、のびのびした子どもを育てる

保育理念： 温かい心を持つ子供に育てる

生き生きと明るく未来を歩んでいける子どもに育てる

周りの人と協力しあえる子に育てる

ルールを守れる子に育てる

園の方針： 社会性の獲得・習慣を助け、身体の基礎的能力の発達の促進、食育の推進と実施による健全な身体の子どもの育成を促進する

④ 施設・事業所の特徴的な取組

① 無農薬食材、調味料、地場農産物を積極的に活用した給食を提供しています。

② 外部講師による体育指導、絵画指導を実施しています。

③ 法人内保育園3園の合同遠足、運動会、音楽会を実施しています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年6月25日（契約日） ～ 令和2年9月23日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（前回： ）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1) 家庭的な保育、縦割り保育の機会を大切にしています

こどもたちが自分の家のように安心できるよう、家庭的な環境を大切にしています。0歳児は3名と少人数で、畳部屋の明るい個室になっており、保育者との愛着関係をたっぷり受ける環境です。朝、夕方の合同保育の時間ではさまざまな年齢の子どもたちが過ごし、大きい子が小さい子をかわいがり、小さい子は大きな子にあこがれながら、育つことを大切にしています。保育士全員が、すべての園児を知り、保育することを重視しています。誕生会、お泊り保育などの行事も、そのねらいをもって実施しています。

2) 子どもの体づくりのため、食と運動を重視しています

保育の基本は体づくりであることから、食については自然由来の素材にこだわった食材を使っています。たとえば合鴨農法のお米、地場産の有機野菜、鎌倉野菜、地元藤沢ブランドの豚肉（みやじ豚）を積極的に使っています。調味料は無添加、砂糖も甜菜です。だしはかつおと昆布だしにこだわっています。海に近い土地柄であり、魚も地元の店から調達しています。運動では、4、5歳から外部講師を招いて週1回の運動教室を開いています。食事についての量や説明を課題としつつ、体幹、柔軟、協応動作の発達を重点に取り組んでいます。

◇改善を求められる点

1) 事業計画（中・長期計画と単年度事業計画）の具体化

保育のさらなる充実、地域の保育ニーズにこたえようというミッション、ビジョンがあるので、それを具体的な指標を伴った事業計画（中・長期計画と単年度事業計画）にしていくことが求められます。それには、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、収支計画が盛り込まれることが必要です。単年度の保育の各種計画にとどまらず、園がめざす将来にわたる方向性を具体的計画のなかで明らかにすることが期待されます。

2) 規定、マニュアルのさらなる整備

保育業務の日常的な運営は、適切に行われていますが、規定、マニュアル類のさらなる充実が望まれます。たとえば、職員の行動規範について、社会人としての当然のルールは就業規則に記載されていますが、保育業務にあたるうえで職員が守るべき人権や法令遵守をはじめとする行動規範や、期待する職員像を園として明確に定めることが期待されます。また、個人情報保護規定や漏洩防止規定、虐待等権利侵害を発見した場合の対応、文書管理者を定めることも望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

心が通い、笑顔が溢れ、安心して過ごせる、あずけられる場所であることを大切にしてきた辻堂あいまーるは、開園から2年が過ぎました。おかげさまで大きな事故なく過ごし、ご家族の皆様と成長の喜びを分かち合い、春には初めての卒園児を笑顔いっぱい送り出すことが出来ました。そこで、3年目を迎える今、私たちの保育を振り返り、発展をしたいと考え、第三者評価を受審いたしました。

時期が悪く、コロナ禍の緊急事態宣言の下ではありましたが、全職員で自己評価の取り組みを行ったところ、まず、これまで「わかっているだろう」という推察で深く話し合わず、意見交換や思いを一つにすることが足りていなかったことに気づきました。評価項目に当てはめて考えることで、通常の日々では見逃していたことでも取り組むべき

具体策や改善策が明確になりました。

評価を頂いた結果では、園が目指す将来にわたる方向性や期待する職員像を明らかにすることが課題であると学ぶことが出来たので、今後はマニュアルの整備等に職員が参画するなど、『子供達、ご家族の皆様のために共に園を運営し、作り上げていく』という意識を高め、さらなる向上を目指し取り組んで参ります。

第三者評価受審に際し、ご家族の皆様にはご多忙の中、アンケート回答にご協力いただきましたこと、また株式会社フィールズ様に多大なご協力を頂きましたことを大変感謝しております。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり